

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2009-544539(P2009-544539A)

【公表日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-521142(P2009-521142)

【国際特許分類】

B 6 5 D 17/32 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 17/32

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

使用者がタブの下を摺動する際、および指穴に指を挿入する際に指を怪我することを回避するため、側部レバー脚部は平坦であり、かつ隣接するレバー脚部には内側および／または外側の曲がった端縁が設けられていることが好ましい。曲げ強度が減少した側部レバー脚部において使用者が指を怪我する危険性があるため、曲げ強度が低下した側部レバー脚部の長さは、外側端縁における使用者の指との接触が実質的に回避されるようなものであることが好ましい。接触を回避することによって、使用者の指の怪我が実質的に回避される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

本発明の別の局面は、本発明に係るタブを有する密閉物が設けられた容器に関する。

本発明の最後の局面は、本発明に係るタブを製作するためのプロセスに関する。このプロセスは、シートメタルからタブを形成するステップを備え、タブは、一方の側にタブノーズ、および他方の側に側部レバー脚によってタブ本体に接続された遠位レバー部によって囲まれた指穴を有するタブレバーを有するタブ本体を備え、さらに、レバー脚内に、曲げ強度が低下した整列した側部レバー脚部を形成するステップを備えるという点で特徴付けられる。明白に、曲げ強度が低下した側部レバー部の形成は、干渉されることなく従来のタブ製作プロセス内で行われ得る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

【図 1】本発明に係るタブを有する密閉物が設けられた容器の斜視図である。

【図 2】図 1 の詳細 I I をより大きな縮尺で示す図である。

【図 3】図 2 の線 I I I - I I I に係る断面を示し、図 7 および図 8 のタブの位置も示す図である。

【図 4】図 2 に示されるタブの上面図である。

【図 5】図 2 に示されるタブの底面図である。

【図 6】図 5 の詳細 V I の代替実施例を示す図である。

【図 7】図 5 の詳細 V I の代替実施例を示す図である。

【図 8】図 2 に示されるタブの使用を示す図である。

【図 9】図 2 に示されるタブの使用を示す図である。

【図 10】図 9 の詳細 X の代替肢を示す図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

レバー脚 14 には、曲げ強度が低下したレバー脚部 17 の形態のヒンジ部 16 が設けられている。図 2 ～図 5 に示されるように、遠位レバー部 13、側部レバー脚および近位レバー部のシートメタルの厚みは実質的に同一である。幅が減少しているのは、曲げ強度が低下したレバー脚部 17 内である。曲げ強度が低下したレバー脚部は、線 9 に実質的に平行であり、かつ穴 6 およびタブノーズ 10 の末端部を通過する線 19 に垂直な線 18 に沿って整列している。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

図 1、図 8 および図 9、ならびに特に図 3 は、容器 1 の密閉物 2 を開けるための本発明に係るタブ 3 の使用を図示する。使用者の指（図示せず）は、最初に約 1 mm 開けて、タブ 3 の遠位レバー部 13 と密閉物 2 との間の空間へ摺動する。指が密閉物 2 から離れて上方へ移動すると、遠位レバー部が、タブ平面から外れて図 8 に示されるような位置に曲がることになる。この最初の持上げまたは曲げは、曲げ強度が低下したレバー脚部 17 のために、極端に低い力で可能である。この段階では、タブ 3、タブ本体 5 およびタブノーズ 10 の他の部分は当初の位置にあり続ける。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

図 9 は、好ましくは使用者が指を穴 6 に挿入してタブ 3 をてこで動かすと、密閉物が切込み線に沿って開封され、その後引剥がされることを示す。図 9 にはっきりと示されるように、曲がった外側端縁 20 および内側端縁 21 により、使用者の指が遠位レバー部の下の空間に最大に入ることが可能となる。同時に、これらの曲げ領域によって使用者の指の怪我が回避される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

密閉物のタブであって、

一方の側に前記密閉物を開けるためのタブノーズ、および他方の側にタブレバーを作動させるための指穴を有する前記タブレバーを有するタブ本体を備え、指穴は、側部レバー脚によって前記タブ本体に接続された遠位レバー部によって囲まれており、

前記レバー脚内に、曲げ強度が低下した側部レバー脚部の形態の整列したヒンジ部が形成され、側部脚部の前記曲げ強度は前記タブ本体に向かって増大する、タブ。

【請求項 2】

前記側部レバー脚部の幅は減少している、請求項 1 に記載のタブ。

【請求項 3】

整列した前記側部レバー脚部は、前記タブ本体から遠い前記レバー脚の区域内に存在する、請求項 1 または 2 に記載のタブ。

【請求項 4】

前記側部レバー脚部の幅は、前記タブ本体に向かって増大する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のタブ。

【請求項 5】

前記側部レバー脚部は平坦であり、隣接したレバー脚部には、内側または外側の曲がった端縁が設けられる、請求項 1 から 4 のいずれかに記載のタブ。

【請求項 6】

曲げ強度が低下した前記側部レバー脚部の長さは、外側の前記端縁における使用者の指との接触が実質的に回避されるようなものである、請求項 1 から 5 のいずれかに記載のタブ。

【請求項 7】

密閉物であって、

前記密封物に接続されたタブを備え、

タブは、請求項 1 から 6 のいずれかに記載のタブである、密閉物。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の密閉物を備える容器。

【請求項 9】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載のタブを製作するためのプロセスであって、

シートメタルからタブを形成するステップを備え、タブは、一方の側にタブノーズ、および他方の側に側部レバー脚によってタブ本体に接続された遠位レバー部によって囲まれた指穴を有するタブレバーを含む前記タブ本体を備え、前記プロセスはさらに

側部脚部の前記曲げ強度が前記タブ本体に向かって増大するように、前記レバー脚内に、曲げ強度が低下した整列した側部レバー脚部を形成するステップを備える、プロセス。